

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表: 令和6年3月1日
事業所名: AIAI PLUS 高殿

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・学習の部屋やプレイルームなど必要に応じて衝立を置いたり整理整頓で工夫している。 ・利用者一人ひとりの個性・特性に配慮して同室の利用者の組み合わせなど環境にも配慮している。	・フロアや個室を活用して運営しています。
	2	職員の配置数は適切である	5	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・毎日掃除を行い、空き時間に手が空いたスタッフが掃除をしている。	・毎日分担をし清掃を行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0		・第三者委員を設けていません。今後検討してまいります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・支援計画作成後も職員全員に要点、知っておくべき事柄の情報共有がある。	・作成後、スタッフ全員で共有をしています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		・ツールを活用しスタッフ全員で共有していきたいと思えます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	・支援計画を見ながらその日の業務日誌(支援内容)を考えている。	・今後もその都度、相談しながら立案していきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	・課題があればその都度話し合っている。 ・その子の前回はその時に支援を行ったスタッフに聞き取りを行い目標についても話し合っている。	・今後もその都度、相談しながら立案していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	・プログラムが固定化しないように話し合いを行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・毎日昼礼を実施しており、その都度カンファレンスを行っている。 ・教材の狙いなど最善の療育になるようスタッフ一同心がけている。	・昼礼等で必要な情報共有を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・支援終了後すぐではないがその日や次の日の昼礼で情報共有している。 ・全員共有できるように意識して話し合っている。	・昼礼等で必要な情報共有を行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	・相談支援員さんとの連携は取れている。	・これからも連携を続けてまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・利用されている方がいない。	・重症心身障害児等の受け入れは行っておりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	1		・重症心身障害児等の受け入れは行っておりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0		・希望があれば積極的に連携をしていきたいと考えています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・小学校との連携も大切にしています。	・今後も希望があれば小学校との連携もしていきたいと考えてます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		・機会がある時は積極的に参加しています。今後も積極的に参加していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	0	・イベントなど開催はこなせておりません。	・機会があればイベントの参加もしていきたいと思えます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0		・施設長または児童発達支援管理責任者が出席しています。その事についてはスタッフと共有していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	・ペアレントトレーニングは行ってないが家族支援はしています。	・今後、ペアレントトレーニングも取り入れていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	・保護者会を行っています。	・今後もニーズに応じて保護者会を開催していく予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1		・地域連携を常に意識しながら運営しております。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・アセスメントを実施し、お子様の状況を確認しております。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	・食事なし	・食事の提供を行っていません。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・その都度共有を行っています。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1		